

- 2010年(印刷中).
25. 亀井 聡、遅発性ウイルス感染症、編集:下条文武、斉藤 康、メディカルノート・神経がわかる、新潟、西村書店、2010年(印刷中).
  26. 亀井 聡、AIDS、編集:下条文武、斉藤 康、メディカルノート・神経がわかる、新潟、西村書店、2010年(印刷中).
  27. 亀井 聡、破傷風、編集:下条文武、斉藤 康、メディカルノート・神経がわかる、新潟、西村書店、2010年(印刷中).
  28. 亀井 聡、ボツリヌス症、編集:下条文武、斉藤 康、メディカルノート・神経がわかる、新潟、西村書店、2010年(印刷中).
  29. 亀井 聡、急性小脳失調症、編集:下条文武、斉藤 康、メディカルノート・神経がわかる、新潟、西村書店、2010年(印刷中).
  30. 鈴木 裕、亀井 聡、細菌性髄膜炎、編集:松谷雅生、田村晃、清水輝夫、EBMに基づく脳神経疾患の治療指針(改訂第3版)、p374-376、東京、メジカルビュー社、2010年.
  31. 亀井 聡、単純ヘルペスウイルス脳炎(成人)、監修:高久史麿、猿田享男、北村惣一郎、福井次矢、家庭医学大全科(六訂版)、p2413-2414、東京、法研、2010年.
  32. 亀井 聡、感染性疾患総論、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  33. 亀井 聡、細菌性髄膜炎、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  34. 亀井 聡、結核性髄膜炎、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  35. 亀井 聡、真菌性髄膜炎、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  36. 亀井 聡、無菌性髄膜炎、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  37. 亀井 聡、脳膿瘍、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  38. 亀井 聡、単純ヘルペス脳炎、病気が見える vol.7 脳・神経、東京、メディックメディア、2010年(印刷中).
  39. 亀井 聡、髄膜炎、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  40. 亀井 聡、脳炎、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  41. 亀井 聡、脳膿瘍、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  42. 亀井 聡、神経梅毒、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  43. 亀井 聡、ポリオ、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  44. 亀井 聡、遅発性ウイルス感染症、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  45. 亀井 聡、AIDS、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  46. 亀井 聡、破傷風、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  47. 亀井 聡、ボツリヌス症、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  48. 亀井 聡、プリオン病、編集:門脇 孝、永井良三、辻 省次他、最新内科学、新潟、西村書店、2011年(印刷中).
  49. 亀井 聡、単純ヘルペス脳炎の治療(シンポジウム:神経感染症の治療 Up to Date). Neuroinfection. 2009; 14(1): 72-77.
  50. 亀井 聡、若年女性に好発する急性非ヘルペス性脳炎(Acute Juvenile Female Non-Herpetic Encephalitis: AJFHE) -全国調査の報告-(ワークショップ:若年女性に好発する脳炎). Neuroinfection. 2009; 14(1):85-88.
  51. 亀井 聡、パーキンソン病における定量的脳波周波数解析(シンポジウム:パーキンソン病の脳波). 日本薬物脳波学会雑誌、2010; 11(1): 27-36.
  52. 森田昭彦、亀井 聡、急性期に橋本脳症と鑑別を要した抗NMDA受容体脳炎の34歳女性例. 厚生労働科学研究費補助金. こころの健康科学研究事業. 急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する研究. 平成21年度総括・分担研究報告書(班長 高橋幸利)、2010、p147-152.
  53. 森田昭彦、亀井 聡、細胞内抗原認識抗体陽性辺縁系脳炎. BRAIN and NERVE、2010; 62(4): 347-355.
  54. 亀井 聡、単純ヘルペス脳炎. Clinical Neuroscience、2010; 28(3): 267-270.
  55. 亀井 聡、神経内科の病気のすべて、18神経感染症の治療. からだの科学、2010; 265: 127-133.
  56. 塩田宏嗣、大石 実、亀井 聡、BPAS (basi-parallel anatomical scanning) MRIによる椎骨脳底動脈解離の診断. 日大医学雑誌、2010; 69(2): 73-74.
  57. 亀井 聡、森田昭彦、塩田宏嗣、山口 舞、知っておきたい認知症の臨床と画像、神経感染症、臨床放射線、2010; 55(11): 1515-1522.
  58. 森田昭彦、亀井 聡、神経疾患治療の進歩(2009年)、感染症の治療の進歩、神経治療学、2010; 27(4): 499-504.
  59. 亀井 聡、医療係争事例から学ぶ71. 単純ヘルペス脳炎の看過. 日本医師会雑誌、2010; 139(5): 1076-1077.
  60. 亀井 聡、内科領域ー単純ヘルペス脳炎ー化学療法領域、2010; 26(10): 32-40.
  61. 亀井 聡、南 正之、平良直人、市原和明、急性非ヘルペス性脳炎. 日本臨牀、2011; 69(3)、印刷中.
- ## 2. 学会発表
1. 亀井 聡、パーキンソン病における定量的脳波周波数

- 解析(シンポジウム:パーキンソン病の脳波)、第12回日本薬物脳波学会、2009年、釧路。
2. 亀井 聡、単純ヘルペス脳炎における診療ガイドラインとその後の進展(セミナー)、第14回日本神経感染症学会、2009年、宇都宮。
  3. 亀井 聡、単純ヘルペス脳炎の病態と治療-新しい治療ガイドラインについて-、第19回日本神経学会中国・四国地区生涯教育講演会、2010年6月、松山。
  4. 亀井 聡、中枢神経感染症の臨床(教育講演)、第28回日本神経治療学会、2010年7月、横浜。
  5. 亀井 聡、[抗NMDAR受容体脳炎]若年女性に好発する急性非ヘルペス性脳炎(AJFNHE)の我が国における疫学調査(パネルディスカッション:ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス)、第17回日本ヘルペス感染症フォーラム、2010年8月、札幌。
  6. 亀井 聡、神経感染症ガイドラインの検証(教育講演)、第15回日本神経感染症学会、2010年10月、福島。
  7. 亀井 聡、中枢神経感染症の臨床(講演)、平成22年度日大医学会 秋学期学術大会、2010年10月、東京。
  8. 亀井 聡、細菌性髄膜炎の診断と治療(シンポジウム:中枢神経系感染症)、第85回日本感染症学会総会・学術講演会、2011年4月、東京。
  9. 亀井 聡、神経感染症の診断と治療、第13回日本神経学会・卒後教育セミナー、2011年5月、名古屋。
  10. 亀井 聡、芹澤 寛、森田昭彦、水谷智彦:パーキンソン病の遂行機能障害における脳波徐波化の局在、第50回日本神経学会総会、2009年5月20-22日、仙台。
  11. 森田昭彦、亀井 聡、芹澤 寛、水谷智彦:パーキンソン病における認知機能障害と脳波の関連、第50回日本神経学会総会、2009年5月20-22日、仙台。
  12. 大石 実、藤岡和美、亀井 聡、水谷智彦、Leukoariosisと脈波伝播速度-ラクナ梗塞患者での検討-、第50回日本神経学会総会、2009年5月20-22日、仙台。
  13. 本間 琢、佐野 誠、菅野 陽、尾花ゆかり、三木健司、石原直樹、田村正人、亀井 聡、根本則道、水谷智、黒質・青斑変性、老人斑多発、扁桃体主体の $\alpha$ シヌクレイン陽性神経細胞出現を特徴とする認知症を伴うパーキンソン症候群の剖検例、第50回日本神経病理学会総会、2009年6月、香川。
  14. 原 誠、平良直人、芹澤 寛、南 正之、亀井 聡、インフルエンザ感染後に発症した急性小脳失調の16歳女性例、第189回日本神経学会関東地方会、2009年6月、東京。
  15. 小川克彦、亀井 聡、水谷智彦、頭痛・霞視を呈し腰椎腹腔シャントにより症状が改善した特発性頭蓋内圧亢進症の1例、第27回日本神経治療学会総会、2009年6月、熊本。
  16. 菅野 陽、芹澤 寛、南 正之、亀井 聡、水谷智彦、健康高齢者に発症したトキソプラズマ脳炎の81歳女性例、第190回日本神経学会関東地方会、2009年9月、東京。
  17. 藤岡和美、大石 実、亀井 聡、矢野希世志、藤井元彰、竹本明子、高橋元一郎、藤岡 彰、FMDとbrachial artery diameter (BAD)間、NMDとBAD間にみられた逆相関、第21回日本超音波学会関東甲信越地方会、2009年11月、東京。
  18. 石原正樹、田中寅彦、平良直人、森田昭彦、原誠、菅野 陽、山口 舞、市原和明、長沼朋佳、石川晴美、小川克彦、塩田宏嗣、鈴木 裕、亀井 聡、水谷智彦、当院で経験したMollaret髄膜炎5例の臨床的特徴、第14回日本神経感染症学会、2009年10月16-17日、宇都宮。
  19. 石原正樹、竹下 淳、市原和明、長沼朋佳、平良直人、塩田宏嗣、鈴木 裕、岸田 覚、浅川剛志、亀井 聡、水谷智彦、右目の奥の激痛・嘔気・嘔吐を呈し、髄膜炎を併発した蝶形骨洞炎の1例、第37回日本頭痛学会、2009年11月、宇都宮。
  20. 菅野 陽、石原正樹、南 正之、亀井 聡、水谷智彦、クリプトコッカス髄膜炎後に症候性てんかんを契機に頭頂葉病変が発見され、ステロイド投与が奏功した35歳男性例、第192回日本神経学会関東地方会、2010年3月、東京。
  21. 藤岡和美、大石 実、亀井 聡、鈴木 裕、矢野希世志、藤井元彰、竹本明子、高橋元一郎、藤岡彰、片頭痛患者での血管拡張反応-内皮依存性血管拡張反応および内皮非依存性血管拡張反応-、第24回城北機能神経疾患研究、2010年3月、東京。
  22. 亀井 聡、森田昭彦、平良直人、石原正樹、南 正之、水谷智彦、高橋幸利、単純ヘルペス脳炎における抗グルタメート受容体(GluR)抗体の検出と転帰との関連、第51回日本神経学会総会、2010年5月、東京。
  23. 森田昭彦、亀井 聡、Parkinson病におけるTrihexyphenidyl投与と脳波の関連、第13回日本薬物脳波学会、2010年6月、島根。
  24. 長沼朋佳、吉橋廣一、亀井 聡、健常者に発症したStreptococcus bovis 髄膜炎の54歳男性例、第193回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年6月、東京。
  25. 原 誠、山口 舞、森田昭彦、亀井 聡、子宮原発の低分化神経内分泌癌(PDNEC)に合併した抗NMDAR抗体陽性辺縁系脳炎の65歳女性例、第193回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年6月、東京。
  26. 菅野 陽、南 正之、塩田宏嗣、鈴木 裕、亀井 聡、皮膚症状を認めなかった水痘・帯状疱疹ウイルスによる急性小脳炎の79歳女性例、第194回日本神経学会関東地方会、2010年9月、東京。
  27. 原 誠、山口 舞、森田昭彦、亀井 聡、髄液PCRでHSV-DNAを検出した後脊髄動脈症候群の49歳男性例、第194回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年9月、東京。
  28. 原 誠、森田昭彦、亀井 聡、子宮癌肉腫による抗NMDA受容体脳炎の65歳女性例、厚生労働科学研究費、平成22年度「急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究」班会議、2010年11月、東京。
  29. 原 誠、山口 舞、森田昭彦、亀井 聡、組織学的にNR1受容体を確認し得た神経内分泌癌による抗NMDA受容体脳炎の65歳女性例、第195回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年11月、東京。

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

### Ⅲ 研究成果の刊行に関する一覧表

厚生労働科学研究費補助金研究報告書

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高橋幸利	てんかんの捉え方	監修：藤原建樹、編集：高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル 改訂第2版	診断と治療社	東京	2010	2-8
高橋幸利	てんかん発病のメカニズム	監修：藤原建樹、編集：高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル 改訂第2版	診断と治療社	東京	2010	9-16
高橋幸利	てんかんの診断から治療の流れ	監修：藤原建樹、編集：高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル 改訂第2版	診断と治療社	東京	2010	17-23
高橋幸利	てんかんの血液検査	監修：藤原建樹、編集：高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル 改訂第2版	診断と治療社	東京	2010	86-91
高橋幸利	遺伝カウンセリング	監修：藤原建樹、編集：高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル 改訂第2版	診断と治療社	東京	2010	172-178
高橋幸利、 須佐史信、 那須裕郷	てんかん	監修：横田千津子、他	病気と薬パーフェクトBOOK 2011 薬局増刊号	南山堂	東京	2011	印刷中
高橋幸利	ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス、自己免疫性脳炎・脳症の病態・診断・治療	ヘルペス感染症研究会	第17回Japan Herpesvirus Infection Forum	ヘルペス感染症研究会	東京	2011	印刷中
熊本俊秀	側頭動脈炎（巨細胞性動脈炎）	総編集者：金澤一郎、永井良三	今日の診断指針（第6版）	医学書院	東京	2010	567-570
岡本幸市	眼瞼下垂	総編集者：金澤一郎、永井良三	今日の診断指針（第6版）	医学書院	東京	2010	167-169
田中恵子	傍腫瘍性神経症候群	総編集者：金澤一郎、永井良三	今日の診断指針（第6版）	医学書院	東京	2010	639-641
田中恵子	多発性硬化症	監修：横田千津子、他	病気と薬パーフェクトBOOK 2010 薬局増刊号	南山堂	東京	2010	885-887
庄司紘史	脳膿瘍	松谷雅生、田村 晃、清水輝夫編	EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針（改訂第3版）	Medical View社	東京	2010	377-378
庄司紘史	無菌性髄膜炎	松谷雅生、田村 晃、清水輝夫編	EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針（改訂第3版）	Medical View社	東京	2010	379-380
庄司紘史	急性ウイルス性脳炎	松谷雅生、田村 晃、清水輝夫編	EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針（改訂第3版）	Medical View社	東京	2010	381-383
岡本幸市	前頭側頭型認知症	松谷雅生、田村 晃、清水輝夫編	EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針（改訂第3版）	Medical View社	東京	2010	438-440

水口 雅、 市山高志、 塩見正司	急性脳症・脳炎	大場洋	小児神経の画像診断.	秀潤社	東京	2010	350-361
市山高志	亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) 症状・徴 候と検査	厚生労働省 科学研究費 補助金難治 性疾患克服 研究事業「 プリオン病 及び遅発性 ウイルス感 染症に関す る調査研究 班」	プリオン病と遅発性ウイル ス感染症.	金原出版	東京	2010	278-282
松永 晶、 米田 誠、 栗山 勝	抗N末端αエノラー ゼ抗体		広範囲血液・尿化学検査 免疫学的検査 その数値を どう読むか	日本臨床社	大阪	2010	648-650
Kamei S	Cerebrospinal fluid cytokines and their change in herpes simplex virus enceph alitis	Victor R Preedy, ed.	Modern insights into disease from molecules to man: Cytokine	Science Publishers	New Hamps hier, USA	2010	in press.

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sakuma Hiroshi, Awaya Yutaka, Shiomi Masashi, Yamanouchi Hideo, <u>Takahashi Yukitoshi</u> , Saito Yoshiaki, Sugai Kenji, Sasaki Masayuki.	Acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures (AERRPS): a peculiar form of childhood encephalitis/encephalopathy due to presumed autoimmunity.	Acta Neurol Scand	121(4)	251-256	2010
Kashihara K, Ohno M, <u>Takahashi Y.</u>	Twenty-one-year course of adult-onset Rasmussen's encephalitis and bilateral uveitis: case report.	J Neurol Sci.	294(1-2)	127-130	2010
Muto Ayako, Ogun Hirokazu i, <u>Takahashi Yukitoshi</u> , Shirasaka Yukiyoshi, Sawaishi Yukio, Yano Tamami, Hoshida Toru, Osaka Hitoshi, Nakasu Satoru, Akasaka Noriyuki, Sugai Kenji, Miyamoto Akie, Satoru Takahashi, Suzuki Motomasa, Ohmori Iori, Nabatame Shin, Osawa Makiko.	Nationwide survey (incidence, clinical course, prognosis) of Rasmussen's encephalitis.	Brain & Development	32(6)	445-453	2010
Yoshikawa T, Asano Y, <u>Takahashi Y.</u>	Detection of DNA of six human herpesviruses in the cerebrospinal fluid of immunocompetent non-herpetic acute limbic encephalitis patients.	Microbiol Immunol.	54(8)	471-474	2010
Tachibana Naoko, Shirakawa Takashi, Ishii Keiko, <u>Takahashi Yukitoshi</u> , <u>Tanaka Keiko</u> , Arima Kunimasa, Takuhiro Yoshida, Shu-ichi Ikeda.	Expression of various glutamate receptors including <i>N</i> -methyl-D-aspartate receptor (NMDAR) in an ovarian teratoma removed from a young female with anti-NMDAR encephalitis	Internal Medicine	49	2167-2173	2010
Kaniwa Nahoko, Saito Yoshiro, Aihara Michiko, Matsunaga Kayoko, Tohkin Masahiro, Kurose Kouichi, Furuya Hirokazu, <u>Takahashi Yukitoshi</u> , Muramatsu Masaaki, Kinoshita Shigeru, Abe Masamichi, Ikeda Hiroko, Kashiwagi Mariko, Yixuan Song, Ueta Mayumi, Sotozono Chie, Ikezawa Zenro, Kasegawa Ryuichi, for the JSAR research group	<i>HLA-B*1511</i> is a risk factor for carbamazepine-induced Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis in Japanese patients.	Epilepsia	51	2461-2465.	2010

Tojo Kana, Nitta Kazuhito, Ishii Wataru , Sekijima Yoshiki, Morita Hiroshi, <u>Takahashi Yukitoshi,</u> Ikeda Shu-ichi.	A young man with anti-NMDAR encephalitis following Guillain-Barré syndrome	Case Rep Neurol	3	7-13	2011
<u>Takahashi Yukitoshi,</u> Mori Hisashi, Mishina Masayoshi, Watanabe Masahiko, Kondo Naomi, Shimomura Jiro, Kubota Yuko, Matsuda Kazumi, Fukushima Katsuyuki, Shiroma Naohide, Akasaka Noriyuki, Nishida Hiroshi, Imamura Atsushi, Watanabe Hiroo, Sugiyama Nobuyoshi, Ikezawa Makoto, Fujiwara Tateki.	Autoantibodies to NMDA-type GluR2 in patients with Rasmussen's encephalitis and chronic progressive epilepsy partialis continua.	Epilepsia			in press.
Shimajima Keiko, Sugiura Chitose, Takahashi Hiroka, Ikegami Mariko, <u>Takahashi Yukitoshi,</u> OhnoKousaku, Matsuo Mari, Saito Kayoko, Yamamoto Toshiyuki.	Genomic copy number variations at 17p13.3 and epileptogenesis.	Epilepsy Research			in press.
Nomura Yuki, Aihara Michiko, Matsukura Setsuko, Ikezawa Yuko, Kambara Takeshi, Aihara Yukoh, <u>Takahashi Yukitoshi,</u> Ikezawa Zenro.	Evaluation of serum cytokines levels in toxic epidermal necrolysis and Stevens-Johnson syndrome in compared with other delayed-type adverse drug reactions.	The Journal of Dermatology			in press.
Ikeda Hiroko, <u>Takahashi Yukitoshi,</u> Yamazaki Etsuko, Fujiwara Tateki, Kaniwa Nahoko, Saito Yoshiro, Aihara Michiko, Kashiwagi Kashiwagi, Muramatsu Masaaki.	HLA-class I markers in Japanese patients with carbamazepine-induced cutaneous adverse reactions.	Epilepsia	51(2)	297-300	2010
Hatano Taku, Shimada Yoshiaki, Kono Ayako, Kubo Shin-ichiro, Yokoyama Kazumasa, Yoritaka Asako, Nakahara Toshiki, <u>Takahashi Yukitoshi,</u> Hattori Nobutaka	Atypical Miller Fisher syndrome associated with glutamate receptor antibodies.	BMJ Case Reports 2011; Doi:10.1136/bcr.08.2010.3228			2011

Yamamoto-Watanabe Y, Watanabe M, <u>Okamoto K</u> , Fujita Y, Jackson M, Ikeda M, Nakazato Y, Ikeda Y, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M.	A Japanese ALS6 family with mutation R521C in the FUS/TLS gene: a clinical, pathological and genetic report.	J Neurol Sci	296	59-63	2010
Makioka K, Ikeda M, Ikeda Y, Nakasone A, Osawa T, Sasaki A, Otani T, Arai M, <u>Okamoto K</u> .	Familial amyloid polyneuropathy (Finnish type) presenting multiple cranial nerve deficits with carpal tunnel syndrome and orthostatic hypotension.	Neurological Research	32(5)	472-475	2010
Makioka K, Yamazaki T, Fujita Y, Takatama M, Nakazato Y, <u>Okamoto K</u> .	Involvement of endoplasmic reticulum stress defined by activated unfolded protein response in multiple system atrophy.	J Neurol Sci	297	60-65	2010
Noguchi A, Nawa M, Aiso S, <u>Okamoto K</u> , Matsuoka M.	Transforming growth factor $\beta$ 2 levels are elevated in neurons of Alzheimer's disease's brains.	Int J Neurosci	120	168-175	2010
Fujita Y, Watabe K, Ikeda K, Mizuno Y, <u>Okamoto K</u> .	Morphological changes of Golgi apparatus in adult rats after facial nerve injuries.	Neuropathology	31	42-47	2010
Fujita Y, Fujita S, Takatama M, Ikeda M, <u>Okamoto K</u> .	Numerous FUS-positive inclusions in an elderly woman with motor neuron disease.	Neuropathology		July 27 Epub ahead of print	2010
Mizuno Y, Fujita Y, Takatama M, <u>Okamoto K</u> .	Peripherin partially localizes in Bunina bodies in amyotrophic lateral sclerosis.	J Neurol Sci	302	14-18	2011
Osawa T, Mizuno Y, Fujita Y, Takatama M, Nakazato Y, <u>Okamoto K</u> .	Optineurin in neurodegenerative diseases.	Neuropathology		Epub ahead of print	2011
<u>Okamoto K</u> , Fujita Y, Mizuno Y.	Pathology of protein synthesis and degradation system in ALS.	Neuropathology	30	189-193	2010
<u>Okamoto K</u>	Ubiquitin-positive tau-negative intraneuronal inclusions in dementia with motor neuron disease.	Neuropathology	30	486-489	2010
Honda K, Okada F, Ando Y, Mori H, Umeki K, Ishii H, Kadota J, Ando M, Miyazaki E, <u>Kumamoto T</u>	Comparison of pulmonary thin section CT findings and serum KL-6 levels in patients with sarcoidosis.	Br J Radiol	84(999)	229-235	2011
Kimura N, <u>Kumamoto T</u> , Masuda H, Hanaoka T, Hazama Y, Okazaki T, Arakawa R.	Relationship Between Thyroid Hormone Levels and Regional Cerebral Blood Flow in Alzheimer Disease.	Alzheimer Dis Assoc Disord	2010	[Epub ahead of print]	2010
Ueno T, Miyazaki E, Ando M, Nureki S, <u>Kumamoto T</u> .	Osteopontin levels are elevated in patients with eosinophilic pneumonia.	Respirology	15(7)	1111-1121	2010
Nakamura K, Tsukamoto Y, Hijiya N, Higuchi Y, Yano S, Yokoyama S, <u>Kumamoto T</u> , Moriyama M.	Induction of GNE in myofibers after muscle injury.	Pathobiology	77(4)	191-199	2010



Morishige M, Abe T, Kamida T, Hikawa T, Fujiki M, Kobayashi H, Okazaki T, Kimura N, <u>Kumamoto T</u> , Yamada A, Kawano Y.	Cerebral vasculitis associated with amyloid angiopathy: case report.	Neurol Med Chir (Tokyo)	50(4)	336-338	2010
Ando M, Miyazaki E, Yamasue M, Sadamura Y, Ishii T, Takenaka R, Ito T, Nureki SI, <u>Kumamoto T</u> .	Successful treatment with tacrolimus of progressive interstitial pneumonia associated with amyopathic dermatomyositis refractory to cyclosporine.	Clin Rheumatol	29(4)	443-445	2010
Tsuge M, Yasui K, <u>Ichiyama T</u> , Saito Y, Nagaoka Y, Yashiro M, Yamashita N, <u>Morishima T</u> .	Increase of tumor necrosis factor-alpha in the blood induces early activation of matrix metalloproteinase-9 in the brain.	Microbiol Immunol.	54(7)	417-424	2010
Kawabe S, Ito Y, Ohta R, Sofue A, Gotoh K, <u>Morishima T</u> , Kimura H.	Comparison of the levels of human herpesvirus 6 (HHV-6) DNA and cytokines in the cerebrospinal fluid and serum of children with HHV-6 encephalopathy.	J Med Virol.	82(8)	1410-1415	2010
Ogasawara M, Shikishima K, Sakai T, Takagi M, <u>Tanaka K</u> .	A case of Neuromyelitis optica developing into myelitis 25 years after optic neuritis.	Jpn J Ophthalmol	54	372-373	2010
Tanaka A, Yoshida T, Yamada T, Isayama R, Fujiwara Y, Shiga K, Yamada K, <u>Tanaka K</u> , Nakagawa M	A case of cerebral aquaporinopathy.	Mult Scler.	16(10)	1252-1254	2010
Matsui M, Tahara M, Tanaka M, <u>Tanaka K</u> , Matsui M, Konishi T.	CD8+CD11a <sup>high</sup> cells decreased in multiple sclerosis but not in neuromyelitis optica.	Eur Neurol.	63	159-163	2010
Kimura A, Kanoh Y, Sakurai T, Koumura A, Yamada M, Hayashi Y, Tanaka Y, Hozumi I, Takemura M, Seishima M, <u>Inuzuka T</u>	Antibodies in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Neurology	74	1372-1379	2010
Sakurai T, Kimura A, Yamada M, Koumura A, Hayashi Y, Tanaka Y, Hozumi I, <u>Inuzuka T</u>	Identification of antibodies as biological markers in serum from multiple sclerosis patients by immunoproteomic approach.	J Neuroimmunol			in press.
Kimura A, Sakurai T, Yamada M, Koumura A, Hayashi Y, Tanaka Y, Hozumi I, Takemura M, Seishima M, <u>Inuzuka T</u>	Elevated anti-heat shock protein 60 antibody titer is related to white matter hyperintensities.	J Stroke Cerebrovasc Dis.			in press.

Adachi T, Saito Y, Hatsuta H, Funabe S, Tokumaru A, Ishii K, Arai T, Sawabe M, Kanemaru K, Miyasita A, Kuwano R, <u>Nakashima K</u> , Murayama S	Neuropathological Asymmetry in Argyrophilic Grain Disease.	J Neuropathol Exp Neurol	69(7)	737-744	2010
Koike H, Atsuta N, Adachi H, Iijima M, Katsuono M, Yasuda T, Fukada Y, Yasui K, <u>Nakashima K</u> , Horiuchi M, Shiomi K, Fukui K, Takashima S, Morita Y, Kuniyoshi K, Hasegawa Y, Toribe Y, Kajiura M, Takeshita S, Mukai E, Sobue G	Clinicopathological features of acute autonomic and sensory neuropathy.	Brain	23	1-16	2010
Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Takeuchi Y, Kawashima M, Yabe I, Sasaki H, Aoki M, Morita M, Nakano I, Kanai K, Ito S, Ishikawa K, Mizusawa H, Yamamoto T, Tsuji S, Hasegawa K, Shimohata T, Nishizawa M, Miyajima H, Kanda F, Watanabe Y, <u>Nakashima K</u> , Tsujino A, Yamashita T, Uchino M, Fujimoto Y, Tanaka F, Sobue G	Efficacy and safety of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy (JASMITT study): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial.	Lancet Neurology	9	875-884	2010
<u>Mori H</u> , Inoue R.	Serine racemase knockout mice.	Chemistry & Biodiversity	7	1573-1578	2010
Zheng L, Ishii Y, Tokunaga A, Hamashima T, Shen J, Zhao Q-L, Ishizawa S, Fujimori T, Nabeshima Y, <u>Mori H</u> , Kondo T, Sasahara M.	Neuroprotective effects of PDGF against oxidative stress and the signaling pathway involved.	J. Neurosci. Res.	88	1273-1284	2010
Hasegawa S, <u>Ichiyama T</u> , Hashimoto K, Suzuki Y, Hirano R, Fukano R, Furukawa S.	Functional expression of cysteinyl leukotriene receptors on human Platelets.	Platelets	21(4)	253-259	2010
<u>Ichiyama T</u>	Acute encephalopathy/encephalitis in childhood: a relatively common and potentially devastating clinical syndrome.	Brain & Development	32(6)	433-434	2010
Aydin ÖF, <u>Ichiyama T</u> , Anlar B	Serum and cerebrospinal fluid cytokine concentrations in subacute sclerosing panencephalitis.	Brain & Development	32(6)	463-466	2010

Hasegawa S, <u>Ichiyama T</u> , Kohno F, Korenaga Y, Ohsaki A, Hirano R, Haneda Y, Fukano R, Furukawa S	Prostaglandin E2 suppresses $\beta$ 1-integrin expression via E-prostanoid receptor in human monocytes/macrophages.	Cell Immunol	263(2)	161-165	2010
Saji N, <u>Ichiyama T</u> , Tadano M, Shimizu H, Kawarai T, Kita Y, Yokono K	Elderly case of prolonged hypoglycemic coma presenting with reversible magnetic resonance imaging changes.	Geriatr Gerontol Int	10(4)	331-333	2010
Uchiyama A, Kusuda S, Imashuku S, Sakuma I, Yamasaki C, <u>Ichiyama T</u> , Nishida H	Fatal hemophagocytic lymphohistiocytosis in an extremely-low-birthweight infant.	Pediatr Int	52(4)	661-663	2010
Hamano Tadanori, Takeda Tomoko, Morita Hiroshi, Muramatsu Tomoko, <u>Yoneda Makoto</u> , Kimura Hirohiko, Kiriyama Masaru	Posterior reversible encephalopathy syndrome following measles vaccination.	J Neurol Sci	298	124-126	2010
高橋幸利、最上友紀子、高山留美子	神経疾患と抗NMDA型グルタミン酸受容体抗体.	Clinical Neuroscience	28(4)	364-365	2010
高橋宏佳、高橋幸利、美根 潤、向田壮一、池上真理子、池田浩子、大谷英之、下村次郎、久保田裕子、藤原建樹	Dravet 症候群におけるTopiramateの治療効果.	脳と発達	42	273-276	2010
野口佐綾香、加賀佳美、高橋幸利、青柳閣郎、中村幸介、神谷裕子、中根貴弥、金村英秋、杉田完爾、相原正男	神経節神経腫による傍腫瘍症候群（抗GluR $\epsilon$ 2抗体陽性）と考えられた反復性小脳失調症の一例.	脳と発達	42	297-301	2010
高橋幸利、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美	辺縁系脳炎とグルタミン酸受容体抗体.	Brain and Nerve	62(8)	827-837	2010
高橋幸利、伊藤智城、白井大介、木村暢佑、木村記子、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美	非ヘルペス性急性辺縁系脳炎.	小児科診療	23	2149-2154	2010
高橋幸利、伊藤智城、白井大介	神経疾患と分子マーカー、3.脳炎.	Clinical Neuroscience	28(12)	1392-1395	2010
高橋幸利、伊藤智城、白井大介、木村暢佑、木村記子、須佐史信、那須裕郷、山口解冬、福山哲広、村上智彦	自己免疫が関わる脳炎・脳症.	小児科	51(12)	1737-1748	2010
池田浩子、重松秀夫、今井克美、久保田裕子、久保田英幹、高橋幸利、井上有史、藤原建樹	ミオクローネー欠伸てんかんの臨床症状と経過.	脳と発達	43(1)	14-18	2011
白井大介、満田直美、細川卓利、藤枝幹也、高橋幸利、脇口 宏	髄液中抗グルタミン酸受容体 $\delta$ 2および $\epsilon$ 2抗体陽性で転換性障害を合併した遷延性小脳失調症の1例	脳と発達	43(1)	41-45	2011

庄司紘史、為数哲史、金子めぐみ、村岡範裕、小池文彦、田畑絵美、高橋幸利	非ヘルペス性辺縁系脳炎・周辺疾患の後遺症の研究。	国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部・福岡看護学部紀要	6	7-12	2010
浜野宣行、高橋幸利、岡本明久、三木博和、阪本幸世、西憲一郎、中尾慎一、新宮 興	誤嚥性肺炎を併発した非腫瘍性急性辺縁系脳炎の1症例。	日本集中治療医学会雑誌			印刷中
高橋宏佳、今井克美、高山留美子、美根 潤、大谷早苗、池田浩子、久保田裕子、高橋幸利、井上有史、藤原建樹	修正ケトン食が著効した部分発作とスパズムの複合発作を有するてんかんの一小児例	脳と発達			印刷中
齊藤利雄、斎藤朋子、高橋幸利、穀内洋介、藤村晴俊	脳MRIで大脳基底核、視床枕、後頭・側頭葉皮質病変を呈し、抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった若年女性脳炎の1例	臨床神経学			印刷中
高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、藤原由美、村上智彦、山口解冬、高山留美子、大谷英之、最上友紀子、池田浩子、今井克美、重松秀夫	けいれんを主症状とするてんかん。	小児内科	43		2011 印刷中
高橋幸利、山崎悦子、最上友紀子、高尾恵美子、笠井理沙、西村成子	脳炎と興奮毒性、細胞傷害性T細胞。	Neuroinfection			2011 印刷中
高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、藤原由美、村上智彦、山口解冬、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美	急性辺縁系脳炎。	小児科診療	74(6)		2011 印刷中
高橋幸利、久保田裕子、池田浩子、高山留美子、最上友紀子、池上真理子、向田壮一、大谷英之、大谷早苗、美根 潤、重松秀夫、今井克美	小児難治てんかん症例におけるLamotrigineの併用使用経験。	日本小児科学会誌			印刷中
山本吉章、高橋幸利、西村成子、幾見泰洋、三島信行、賀川義之	CYP2C9およびCYP2C19のSNP迅速測定法の開発と小児てんかん患者への臨床応用。	YAKUGAKU ZASSHI			印刷中
高橋幸利、高山留美子、向田壮一、池上真理子、池田浩子、池田 仁	免疫機序による認知症。	認知症診療マニュアル	72(suppl. 6)	422-426	2010
庄司紘史、遠藤智代子、田中 薫、迫 香織、小池文彦、高橋幸利	目でみる症例、単純ヘルペス脳炎/非ヘルペス性辺縁系脳炎。	内科	105	151-156	2010
為数哲司、庄司紘史、新福尚隆他	重症度に応じたアルツハイマー病患者の言語理解の特徴。	老人精神医学	21(10)	1121-1128	2010
為数哲司、庄司紘史	アルツハイマー病の言語理解の年次変化について。	国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部・看護学部紀要	6	13-19	2010
庄司紘史	非ヘルペス性辺縁系脳炎の臨床。	Brain and Nerve	62(8)	853-860	2010

庄司紘史	全身症候と神経症候.	Clinical Neuroscience	28(3)	254-256	2010
庄司紘史	神経系感染症の分類と診断.	からだの科学	265	120-124	2010
塚越設貴、池田将樹、 田野しのぶ、尾林 海、 藤田行雄、岡本幸市	5年の寛解期の後に再発した遅発性放射線脊髄症の1例.	臨床神経学	50(6)	393-398	2010
林信太郎、甘利雅邦、 岡本幸市	構音障害と嚥下障害が自然寛解と再発を示し喉頭に結節性病変を伴った筋炎の1例.	神経内科	73	305-309	2010
水野裕司、岡本幸市	Tacrolimusを投与した重症筋無力症36例の検討.	神経治療	27	69-75	2010
池田将樹、岡本幸市	マーカー・遺伝子検査による診断法は認知症に有効か?	成人病と生活習慣病	40	165-169	2010
迫 祐介、麻生泰弘、 中村憲一郎、木村成志、 熊本俊秀	発汗障害によるうつ熱をきたしたパーキンソン病の1例.	臨床神経学	50(3)	151-155	2010
増田曜章、木村成志、 中村憲一郎、岡崎敏郎、 荒川竜樹、熊本俊秀	周期性一側てんかん型放電をとめない、てんかん性失語重積状態をくりかえした辺縁系脳炎の1例.	臨床神経学	51(2)	135-140	2011
熊本俊秀	感染症筋炎.	Clinical Neuroscience	28(3)	340-342	2010
熊本俊秀	血中エタノール濃度. 広範囲 血液・尿化学検査 免疫学的検査、第7版.	日本臨牀	68(増刊号1)	522-525	2010
熊本俊秀	トルエン、キシレン. 広範囲 血液・尿化学検査 免疫学的検査、第7版.	日本臨牀	68(増刊号1)	552-555	2010
下畑享良、柳川香織、 田中恵子、西澤正豊	予後不良であった細菌性髄膜炎症例の臨床像の特徴.	臨床神経学	50(3)	137-140	2010
田中正美、岡本智子、 小森美華、田中恵子、 齊田孝彦	ステロイド依存性多発性硬化症とは何か?	神経内科	72(6)	646	2010
坂本 文、西村雅史、 笠間周平、田中恵子、 三村 治	抗アクアポリン4抗体陽性であった視神経炎の1例.	眼科	52(7)	939-943	2010
本山りえ、白石一浩、 田中恵子、木下真幸子、 田中正美	痙攣と視神経炎を反復した抗NMDA受容体脳炎の10歳女児例.	臨床神経学	50(8)	585-588	2010
嶋崎晴雄、安藤綾子、 中村優子、神林 崇、 田中恵子、中野今治	経過中にposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES)と甲状腺癌を合併した視神経脊髄炎の47歳女性例.	日本内科学会誌	99(8)	1913-1915	2010
小田哲也、刈田典生、 濱口浩敏、田中恵子、 戸田達史	抗aquaporin-4抗体陽性症例の治療経験.	神経内科	73(2)	194-198	2010
田中恵子	傍腫瘍性神経症候群の発症機序.	Brain and Nerve	62(4)	309-318	2010
田中恵子	抗プルキンエ細胞質抗体(抗Yo抗体)	日本臨床 広範囲血液・尿化学検査 第7版 IX. 免疫学的検査 F. 自己抗体	68	526-529	2010

田中恵子	抗NMDA受容体抗体.	日本臨床 広範囲血液・ 尿化学検査 第7版 IX. 免疫学的検査 F. 自己抗体	68	651-654	2010
田中恵子	傍腫瘍性神経症候群と抗神経抗体.	臨床神経学	50(6)	371-378	2010
田中恵子、田中正美	NMO spectrum disordersと膠原病/悪性 腫瘍/感染症.	Brain and Nerve	62(4)	953-960	2010
田中正美、高坂雅之、 田中恵子	NMOの臨床	脊椎脊髄	23(8)	743-748	2010
田中恵子	NMOの臨床症候, MRIと検査所見. —抗アクアポリン4抗体の意義—	Brain Medical	22	39-44	2010
和田健二、中島健二	本邦の認知症 (痴呆)の有病率はどの くらいでしょうか.	Modern Physician	30(1)	157-160	2010
和田健二、植村佑介、 中島健二	わが国における認知症疫学	神経内科	7(6)	6-9	2010
和田健二、中島健二	認知症の分類と診断.	からだの科学	265春	48-55	2010
和田健二、中下聡子、 中島健二	疫学.	Clinical Neuroscience	28(9)	972-974	2010
和田健二、山脇美香、 中島健二	認知症/AD/MCIの疫学—現在と将来予 測—	Prog.Med	30(8)	2081-2086	2010
和田健二、植村佑介、 中島健二	認知症予防としての運動	最新精神医学	15(5)	467-473	2010
米田 誠、土井浩二、 古和久典、中島健二、 山本幹枝、和田健二	抗N末端 $\alpha$ -エノラーゼ抗体をみとめた 急性小脳失調症の1例	臨床神経学	50(8)	581-584	2010
中嶋秀人	HSV脊髄炎とElsberg症候群	Clinical Neuroscience	28	336-337	2010
忌部 尚、中嶋秀人、 伊藤 巧、北岡治子	遠位尿細管性アシドーシスを伴うシェ ーグレン症候群に発症した視神経脊髄 炎の1例.	臨床神経学	50	168-171	2010
別所 恵、中嶋秀人、 伊藤 巧、北岡治子	帯状疱疹後にBrown-Sequard syndrome を呈した1例.	臨床神経学	50	175-177	2010
有村公良、渡邊 修	免疫介在性ニューロミオトニア(Isaacs 症候群)	BRAIN and NERVE	62(4)	401-410	2010
徳永章子、岡本裕嗣、 稲森由恵、渡邊 修、 有村公良	Methotrexate療法が奏功し、小腸カプセル 内視鏡で経過を追えた里吉病の1例.	神経治療学	27(5)	697-701	2010
稲森由恵、岡本裕嗣、 野妻智嗣、池田賢一、 渡邊 修、梅原藤雄、 有村公良	MRIにて馬尾と頸髄神経根にガドリニ ウム(Gd)造影効果を認めたSjogren症 候群に伴う感覚性運動失調型.	日本内科学会 雑誌	99(2)	340-342	2010
平松 有、吉村道由、 高田良治、道園久美子、 渡邊 修、高嶋 博	特異な頭部画像所見を呈した悪性リン パ腫の一例.	日本内科学会 雑誌	99(12)	3073-3076	2010
崎山佑介、道園久美子、 泊 晋哉、渡邊 修、 中原啓一、高嶋 博	超低温下弓部大動脈人工血管置換術後 に発症した進行性核上性麻痺類似症候 群の1例	臨床神経学	51(1)	38-42	2011
西田拓司	脳神経疾患	診断と治療			印刷中
森田昭彦、亀井 聡	細胞内抗原認識抗体陽性辺縁系脳炎	BRAIN and NERVE	62(4)	347-355	2010

亀井 聡	単純ヘルペス脳炎	Clinical Neuroscience	28(3)	267-270	2010
------	----------	--------------------------	-------	---------	------





201027066A( $\frac{2}{2}$ )

厚生労働科学研究費補助金

障害者対策総合研究事業

急性脳炎・脳症の  
グルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・  
早期診断・治療法確立に関する臨床研究

平成22年度 総括・分担研究報告書

(2/2冊)

主任研究者 高橋幸利

平成23 (2011) 年 3月

## IV 研究成果の刊行物・別刷

# 1 てんかんの捉え方

## 1 定義

てんかんは、大脳神経細胞の突然で過剰な同期性の興奮に由来する反復性発作(てんかん発作)を主徴とする慢性の脳疾患と定義される。

## 2 特徴

てんかんには他の疾患にはみられない特徴(以下①～⑤)があり、これらのてんかんの特徴を理解した上で、てんかん発作分類・てんかん分類に基づいて、様々な症例を理解していく積み重ねが、てんかん専門医への近道である。

### ①多様性

てんかんは多様な疾患群からなり、様々な原因で発病し、様々な発作症状を呈し、様々な予後をとる。年齢とともに自然寛解するてんかん症候群も存在するが、徐々に退行していく症候群も存在する。他の疾患と異なり、原因が同じであっても症例によって、てんかんの種類(てんかん発作・てんかん診断)が異なることがある。

### ②発作性

てんかん発作は常時みられる症状ではなく、予期しない時に突発的に起こり、他疾患と異なり通常診察時には発作による症状・所見を見出せない。そのため問診(保護者・患者の記憶)に頼った診断となる。患者も発作開始を予知できないことが多く、事故などの問題にも注意を払う必要がある。

### ③変容

年齢とともに、てんかん発作の型がダイナミックに変化したり、治療がうまくいかないと、あたかも悪性疾患のごとく発作がどんどん増悪することがある。

### ④対症療法的治療

内科的治療は対症療法が主体で、抗てんかん薬はてんかんを治すのではなく発作を抑制するためのもので、根本療法ではない。現在の抗てんかん薬は原因よりも発作症状に基づいて選択される。

### ⑤合併症

てんかん発作のみならず、他の神経症状を合併することがあり、小児では、精神遅滞、運動発達障害、コミュニケーション障害、学習障害などを潜在的あるいは顕在性にもっていることがあり、発作頻度がそれらの程度に影響することがある。

### 3 疫学

岡山県での調査によると、てんかんは1,000人に5.3～8.8人という頻度(有病率)で見られる病気で、昔と比較して経年的変化はないとされている<sup>1)</sup>。10～12歳の有病率が高い。てんかんの発病率は小児から成年期では年間70人/10万人とされており、0～1歳での発病率が小児では最高値となっている<sup>2)</sup>。

### 4 原因による分類：特発性・症候性

正常の脳に何らかの原因が加わり、てんかん原性変化が起こるとてんかんが発病する(図1)(→第1部B p.9)。てんかんの原因は、基礎疾患が見当たらず遺伝性の素因が強いと考えられる①特発性と、中枢神経系に既知の障害あるいは推定される障害をもつ②症候性に分類される。③潜因性とは、症候性が疑われるが、その確証がない場合を指す。特発性が約60%、症候性が約40%を占めている(図2)<sup>3)</sup>。

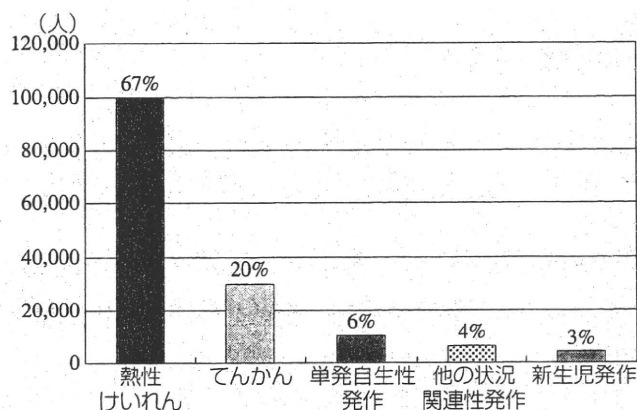
特発性のものには、単一遺伝子異常によるてんかん、多因子遺伝によるてんかんなどが含まれる<sup>4)</sup>。単一遺伝子異常によるてんかんには、Kチャンネル遺伝子(KCNQ2, KCNQ3)による良性家族性新生児けいれんをはじめとして、イオンチャンネル遺伝子の異常が多い(表1)。特発性てんかんの大多数は多因子遺伝によるてんかんと推定されているが、多因子遺伝のメカニズムは、まだ解明されていない。

てんかんの原因が判明した症例は少ないが、周産期障害(7.9%)、中枢神経系感染症(2.8%)、

#### Column

#### アメリカの発作性疾患の疫学

アメリカのデータでは、18歳未満の初発発作をきたした患者のうち20%がてんかんで、熱性けいれんに次いで多い発作性疾患である(図)<sup>5)</sup>。



【図】 18歳未満の初発発作の年間実患者数(アメリカ)

(Hauser WA: The prevalence and incidence of convulsive disorders in children. *Epilepsia* 1994; 35 (suppl 2): S2-6.)